

教育センター学びの丘研修員における学びについて

紀の川市立上名手小学校

教諭 池 本 光 夫

和歌山県教育センター学びの丘研修員における、1年間に渡る研究と修養についての自身の経験と成長について所感を述べる。

修養では、学びの丘所員による専門性に優れた様々な研修を受講することで、学校現場では知り得ないことを学ぶことができた。また、指導主事派遣事業に同行することで、研修を運営する側と研修を受講する側の両方の立場を経験することができた。この経験を生かし、現職教育などの学校現場での実践に取り組んでいきたい。

研究では、自身の道徳科の授業を省察する中で、児童が道徳的課題を自分事として考える方法と評価方法について研究を進めた。道徳的価値を深められる場面を体験することや、その様子を見ることでより自分事として考えるロールプレイングに着目し、児童の考えの深まりから、ある一定の効果があることが分かった。また、評価方法についても年間や学期を通した大きくくりなまとまりを踏まえた評価を行う見通しをもつことができた。

今後は、研修員として学んだことを実践し、さらに研究を進め、児童が道徳性を自ら成長させることができるような授業に取り組み、教育者としての資質・能力の向上に努めていきたい。